

市民参加プロセス計画書：岡崎市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「温対法」という。）第21条に基づくもので、本市の自然的、社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の抑制等を総合的かつ計画的に進めるための施策を策定するものです。
 本計画は、平成23年に初めて策定した後、平成30年に改正を行いました。今般、国の地球温暖化対策計画において、2030年度の温室効果ガスを46%（2013年度比）削減を目指すこと、さらには50%の高みに向けて挑戦を続けることが示されたこと、また、本市においても令和2年にゼロカーボンシティを表明し、2050年において「市域における二酸化炭素排出量実質ゼロ」を宣言したことを踏まえ、全面改正する必要があります。
 本計画においては、本市における温室効果ガスの削減目標、目標を達成するための排出抑制策などの内容を盛り込む必要があると考えています。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階					
構想段階					
	<p>本計画は温対法に基づいて策定するため、検討段階及び構想段階における市民参加の余地がほとんどありません。そのため、岡崎市地球温暖化対策実行計画の具体的内容について検討する計画段階から市民参加を実践することとします。</p>				
計画段階	令和4年1月～令和5年1月	附属機関	岡崎市環境審議会（学識経験者からの専門的な御意見をお聴きするため）	・本計画について、諮問及び答申	本計画について学識経験者からの専門的な御意見をお聴きし、計画案の審議、検討を行う。
	令和4年4月～6月	環境を考える会 市内8会場（支所単位） 2/17（延期）、2/24（延期）、3/10（延期）、3/24（延期）、4/14、4/21、4/28、5/12、5/19、5/26 いずれも19:00～20:30	主に会場地区内（支所管内）の一般市民の方を対象 （市内全域において多くの市民の方にゼロカーボン、脱炭素の現状や取組みについて説明するため、市内8会場での分散開催とした。）	○ゼロカーボンシティについて ・地球温暖化、気候変動の現状 ・ゼロカーボンシティに向けた取組み *なお、当日はごみ減量と合わせて説明を行う予定	広く市民の方に、地球温暖化、気候変動による環境への影響やごみ処理の現状などを説明し、ゼロカーボンとしてどんなことに取り組めるのか、自分ごととして考えるきっかけづくりとする。
	令和4年5月～6月	SNSアンケート	全市民（容易に多くの市民の方から直接意見を聞くことができるため）	ゼロカーボンに対する意識や取組みについて	ゼロカーボンに対する市民の意識が把握でき、今後、誰に対してどのようなことに取り組むべきか（施策）の判断材料になる。
	令和4年5月～令和5年1月	環境教室の開催 通年開催 （小中学校、企業、地元各種団体等）	小中学校の児童及び生徒、民間事業者、町内会等（地球温暖化、気候変動など環境問題を学習するとともに、自分が何ができるかを考えるきっかけづくりとする。）	・地球温暖化、気候変動等の課題 ・2030年の暮らしは？地球にやさしい暮らしとは？（ゼロカーボンシティの実現に向け、自分ができることを考える。）	地球温暖化、気候変動による環境への影響やごみ処理の現状などを説明し、ゼロカーボンとしてどんなことに取り組めるのか、自分ごととして考えるきっかけづくりとする。
	令和4年6月以降	市民広聴会「まちづくりほっとミーティング」	子供から大人までの幅広い年代の市民（本計画の目標年を2050年としているため、大人だけでなく、若い年代の方からの意見を取り入れる必要があるため）	・地球温暖化、気候変動等の課題 ・2030年の暮らしは？地球にやさしい暮らしとは？（ゼロカーボンシティの実現に向け、自分ができることを考える。）	・「環境を考える会」を開催し、ゼロカーボンについて、一定の説明を行ったあと、次のステップとして、意見交換を行う。 （環境を考える会（説明）⇒ほっとミーティング（意見交換））
	令和4年8月	ワークショップの開催 （高校、大学で1校ずつ）	高校生及び大学生（市民説明会、環境教室等でなかなか参加できない世代に対し、市から開催を呼びかける。）	○ゼロカーボンシティについて ・地球温暖化、気候変動の現状の説明 ・ゼロカーボンシティに向けた取組みの提案	若い世代（高校生、大学生）が地球温暖化や気候変動の現状を理解するとともに、ゼロカーボンに関する取組みの提案を受ける。
	令和4年12月	パブリックコメント	全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため）	・本計画（案） ・本計画（案）に対する意見	本計画（案）の内容に対する合意を得る。
実施・運用段階	令和6年5月～6月	SNSアンケート	全市民（容易に多くの市民の方から直接意見を聞くことができるため）	ゼロカーボンに対する意識や取組みについて	毎年、継続して行うことで、ゼロカーボンに対する市民の意識を把握でき、必要に応じて、今後、啓発を強化できる。